

令和 3(2021)年度 周南市行政評価のまとめ【概要】

2022.5.11

財政課行財政改革推進室 調製

■ 行政評価の目的

- ◆ 成果志向の行政運営
- ◆ PDCA サイクルを基本とする「行政マネジメントサイクル」の確立

- ◆ 情報共有化の促進と説明責任の向上
- ◆ 職員の意識改革

■ 取組状況

	事務事業評価	施策評価
評価主体	所管課による事後評価	行政評価等評価委員会による事前評価
対 象	前年度実施した事務事業 (648 事業)	まちづくり総合計画後期基本計画の 推進施策 (120 施策)
評価方法	・内部事務システムでの評価 ・目的妥当性、有効性、効率 性の項目について自己評価	事務事業評価結果、まちづくり総 合計画の進捗状況、まち・ひと・し ごと創生総合戦略の評価結果等 より総合的に判断
総合評価	各評価項目に配点された得 点の合計により4段階 (A ～D) に分類	緊急性や重要性から4つの方向 性 (重点推進、推進 (緊急性を 伴うもの)、推進、維持) に分類

■ 財政効果額

令和 3 年度行政評価や各課の工夫等により、4 年度当初予算に反映した効果額

98,905 千円

【主な内容】

- WEB 会議・研修の活用等による県外出張旅費の削減
- 集中管理公用車の台数、マイクロバス運行の見直しによる削減
- 工事設計業務の直接実施による委託料の削減 など

■ 評価結果

◆ 事務事業評価の結果

評価	A	B	C	D※1	対象外※2	合計
事業数	3 6 7	2 4 5	2	2 2	1 2	6 4 8

※1 事業の方向性が廃止や終了の場合、総合評価をDとする。(22事業のうち21事業が該当)

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業は、総合評価の対象外とする。

◆ 施策評価の結果

施策の方向性	施策数
重点推進	2 0
推進 (緊急性を伴うもの)	4
推進	3 6
維持	6 0
計	1 2 0



最重点推進 ※
高等教育等における人材の育成
子どもの明るい未来への支援
地域防災力の強化
空き家・空き地対策の推進
低炭素社会の構築
新エネルギーの利活用の推進
ICT 等の活用

※「最重点推進」施策…緊急性や重要性が特に高いと考えられ、次年度の予算編成において優先的に
取組むべきとする施策

■ 今後の課題 (方向性)

- まちづくり総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略との連動
- 第4次行財政改革大綱及び行財政プランとの整合性
- 行政評価システムの連携と活用 ➡ 予算編成・実施計画との連動